

花の種まき（春の花）

花の種まきについての資料です。種を播く際の参考としてください。
使用する花種は・・キンセンカ、ヤグルマギク、ノースポール、
ビオラです。

令和3年8月作成
福井県総合グリーンセンター

キンセンカ

ヤグルマギク

ノースポール

ビオラ



○種の発芽

- ・酸素
- ・水分
- ・温度
☆発芽適温15℃～20℃

○種まきの土

- ・清潔であること
- ・排水性（通気性）が良いこと
- ・保水性が良いこと

○種まきの仕方

- ・「種まき培養土」、「セルトレイ」を使用していきます。

準備物

セルトレイ



種まき専用の土



(種まき培養土)

種



(例：キンセンカの種)

※：種子は種まき直前まで、
冷蔵庫で保管する。

一般的には、200穴のトレイを使いますが
種の大きさによって使い分けます。

1 セルトレイ土入れ

- ①種まき培養土に水を入れて、土をよくかき混ぜます（コンテナ端の土も十分混ぜるようにします）。湿り具合が、土を軽く握った時にふんわりした塊になるくらいがまでかき混ぜます。湿った種まき培養土をセルトレイに入れます。土が入ったセルトレイを両手で持ち上げ、床などに軽く落とし、詰め込んだ土の隙間をなくします。土が沈んだら土を入れて、手や板などで、土の表面をならします。



水を入れます



土をかき混ぜます



土を軽く握った時のふんわりした塊



セルトレイを持ち上げます



セルトレイを軽く落とします



土の表面をならします

2 播種

- ・ピンセットでつまむことが簡単な大きい種子（キンセンカ、ヤグルマギク）の場合は 2-1 へ
- ・ピンセットでつまむことが難しい小さい種子（ノースポール、ピオラ）の場合は 2-2 へ

2-1 ピンセットでつまむことが簡単な大きい種子（キンセンカ、ヤグルマギク）の場合

①プラグトレイの土に 1 個ずつ深さ 5mm 程度の丸い穴をあけます。



棒等を使用して丸い穴をあけます

穴（拡大）

②ピンセット等を使用して種をつまみ、穴に 1 粒ずつ丁寧に種を播きます。
播き終わったら種が隠れる程度に覆土します。



種（キンセンカ）



ピンセット等を使用して種をつまみます



種を播きます



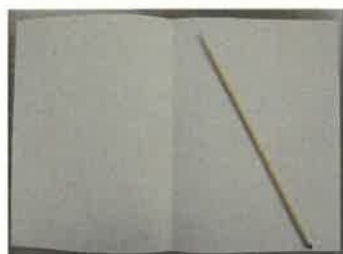
播いた種



覆土します

2-2 ピンセットでつまむことが難しい小さい種子（ノースポール、ピオラ）の場合

①小さい種子の場合は竹ぐしと紙（A4 半分程度の大きさの紙）を使用して種を播くと便利です。
半分に折った紙に種をおきます。



竹ぐしと紙

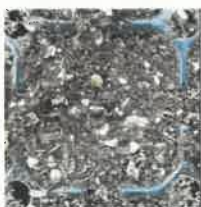


種（ノースポール）



半分に折った紙に種をおきます

②棒等で 1~2 mm ほどくぼみをつけ、種を落とさないように紙を持って、播きたい場所に紙を向けて竹ぐしで 1 粒ずつ播きます。



棒等で 1~2 mm ほどくぼみをつけます

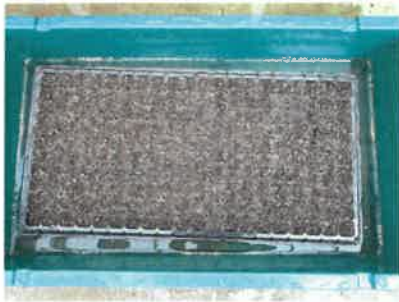


竹ぐしで 1 粒ずつ播きます

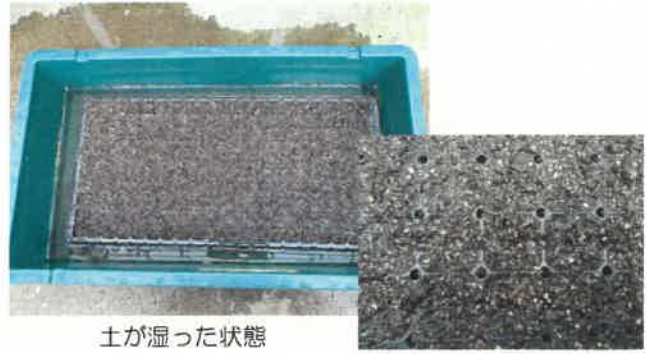
※ノースポールは種まき後の覆土は必要ありません。ピオラは種が隠れる程度に覆土します。

3 水やり

①トレイなどに水を張り、プラグトレイの下から水を吸わせる底面給水で水やりします。土の色が黒く変わるまで下からしっかり水を吸わせます。土が湿ったらすぐに水から上げます。



土が乾いた状態



土が湿った状態

4 種まき後の管理

①ラベルに種まき日、花の名前、花の色等を記入してプラグトレイに立て、発芽するまでは風通しの良いなるべく涼しいところに置きます。土の表面がうす茶色になったら土が乾いたサインです。底面給水で水をやさしくやりましょう（水のつけっ放しは絶対にしないようにします）。



※発芽するまでは絶対に乾かさな
いようにします。

②芽が出たら、根の張りを良くするため、日当たりと風通しの良い場所に置きます。



※日当たりが悪いところだと苗が徒長するので、
日当たりが良いところに置きます。